

事業名	結核対策費		
細事業名	結核対策普及啓発事業費	財務コード	731905
担当部課室	福祉保健 部	健康増進 課	感染症 担当 (内線) 3511

事業の概要

実施期間	始期 S61 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)、補助((公財)結核予防会結核研究所)		
事業の目的	だれ(何)を対象に 結核業務担当者	その対象をどのような状態にして 結核に関する正確な知識や最新の情報の習得ができています	結果、何に結びつけるのか 結核の予防・まん延防止対策
	<p>公益財団法人 結核予防会結核研究所は、昭和14年に内閣総理大臣に賜った皇后陛下(香淳皇后)の令旨を奉戴し、内閣決定により設立された公益法人であり、総裁秋篠宮妃紀子殿下のもと、結核を中心に、肺がん、その他の呼吸器疾患の予防事業、調査研究及び国際協力等を行っている団体である。</p> <p>本事業で参加している研修は、保健所で結核対策に従事する保健師が、結核の基礎知識に加え、対応困難事例演習を通して偏在化・多様化する患者支援に必要な知識と技術を習得するものであり、従事者としての資質の向上が図られ、結核の予防・蔓延防止へ繋がるものである。</p> <p>事業内容 公益財団法人結核予防会結核研究所が実施する研修への参加費用負担及び参加</p>		
事業の内容 主にH26年度			
根拠法令等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第37条、第37条の2		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と 目標の実現度	25年度	26年度		27年度	28年度	事業目標の考え方	
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値		
活動指標	研修への参加	4	2	4	2	2	活動指標 目標設定の考え方 研修への参加者数
	活動指標達成率 (実績値/目標値)	200.0 %					実績報告 データの出典等
成果指標	成果指標達成率 (実績値/目標値)	%					成果指標 目標設定の考え方 データの出典等
	決算額又は予算額 (千円) うち一財額	361		381	537	512	成果指標によらない成果
所要時間(直接分)	126 時間		119 時間	56 時間	56 時間	研修内容を踏まえた正確な知識の普及、患者への適切な対応等により結核業務担当者としての役割を果たしているため、結核の予防・まん延防止対策に寄与している。	
所要時間(間接分)	0 時間		0 時間	0 時間	0 時間		
所要時間計	126 時間		119 時間	56 時間	56 時間		
人件費コスト単位:千円 (@2,048円×所要時間)	258		244	115	115		

これまでの事業の見直し・改善状況

--

活動量と成果の判断(平成26年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか (「活動指標の達成率」等から事業の活動量を判断)		
数値判定		活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価が異なる場合等に記載すること
H26年度 活動指標 の達成率	活動量に係る 一次評価	
a	a	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上) b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)
d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)

(2) 事業は意図した成果を上げているか (「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定		成果に係る一次評価の考え方 必ず記載すること
H26年度 成果指標 の達成率	成果に係る 一次評価	研修内容を踏まえた正確な知識の普及、患者への適切な対応等により結核業務担当者としての役割を果たしており、結核の予防・まん延防止対策に寄与しているため、意図した成果を上げている。
	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上) b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満) c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満) d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)

見直しの必要性(平成28年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部局評価結果)		
見直しの必要性	説 明	以外の判断項目
有	<p>これまで実務能力の向上を重視して、保健師向けの「保健師・対策推進コース」へ2名の参加を目標としてきたが、一層の結核の予防及びまん延防止対策の推進と経費節減を念頭に置き、うち1名分を「結核行政担当者コース」とすることにより、事務担当者の視野の拡大と意識の向上を図り、事業立案能力を高めた総合的な対応体制の構築が期待ができる研修計画となり、併せて経費節減にも繋がるものとなる。</p> <p>【改善前】保健師・対策推進コース(21,600円)×2名=43,200円 【改善後】保健師・対策推進コース(21,600円)+結核行政担当者コース(18,360円)=39,960円</p>	b,i,m

・「以外の判断項目」の欄
a: 目的の達成 b: 新たな課題への対応 c: 対象の変化 d: ニーズの変化 e: 法律・制度の改正 f: 民間等実施 g: 市町村等へ移管 h: 外部委託
i: 経費節減 j: 類似事業と統合・連携 k: 所要時間の縮減 l: ITの改善 m: その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説 明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする

見直しの方角(平成28年度当初予算等での対応状況)

見直しの方角	具体的な実施計画等 「見直しの必要性」と「見直しの方角」が異なる場合は、その理由も記載すること
実施方法等の変更	結核の予防及びまん延防止対策の推進を図り、事業立案能力を高めた総合的な対応体制を構築するため、保健師・対策推進コースと結核行政担当者コースの受講に見直しを行う。

・見直しの方角は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること
・見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること